[illegible]六吊[illegible]二吊二百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
市共上車三十餘輛
市共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一連紙 [illegible] 一圓
一フールスカツプ 全 四圓
一中判洋紙 全 二圓
一半紙 百枚 二十錢
一野紙
一窓紙 四十枚綴 十四錢

一椅子 一圓五十錢以上四圓五十錢
一簟笥 三十圓以上三十五圓
一卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛 六圓以上十二圓
一廚房用戸棚 七圓五十錢以上十圓

一[illegible] [illegible]
一長火鉢 [illegible] 八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

滿州日報

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

横濱正金銀行牛莊支店
電話 支配人室 十番 事務室 百八番

立神丸 六月八日長崎行
相模丸 六月五日 太沽、芝罘、仁川、釜山、長崎、門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ 未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告
營口代理店 旗昌洋行 （電話二六番）

瀛船出帆廣告
第二長門丸 六月二日午後芝罘行
秀吉丸 六月五日門司行
高取丸 六月六日門司行
萬成源丸 龍口定期
仁壽丸 天津行定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部 （電話五二番）

新荷着
朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部 （電話五二番）

大阪商船株式會社 瀛口出帆廣告
千珠丸 六月三日 四日市直行
代理店 東營口公園地横 ブンシュ兄弟商會 遠來洋行 （電話二十三番）

○○○宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布衛花標布東洋緞子紋緞子紋布手巾花巾洋燭火柴鐵表等類價值格外克已並且眞貨實以故敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周詳倘可而商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧易勝榮幸之至 總司理人 田中賴之助謹白
開設老爺閣街同盛德院內 電話（住宅八三番 五五番）

○○○東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋鐵煤炭雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廟東南處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜棧屋有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是實 總司理人 業亮卿謹白

○○○東永茂
本號開設營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房豐恭及經理買賣棉貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之 正理事孫玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

○○○西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專營裝卸輪船上下各貨照料棧棧堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

○○○仁裕號
係裝運各帶火輪船生意兼賣各料洋什貨煤石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

○○○丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

○○○永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 東櫃（電話九十五番）
西義順棧內 西櫃（電話九十八番）

○○○代代木烟公司
本行專售 日本官造紙烟 星象牌（斯達）櫻花牌（撒利）百合花牌（利利）均已馳名內外玆特選上等烟料加工精製鶯仙鶴牌（陳沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉諸君欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

○○○矢野洋行
啓者本行開設營埠已週一載幸蒙貴客商愛顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罐詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物件價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也
營口元神廟街 電話百三十七號 本行主人啓

志岐組木料棧 材料出售
啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨淥兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克巳凡中外士商光顧請到本棧面議

三井
電話 第六十六號 第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立巳久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克巳秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米、

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克巳秉公以廣招徠有願保平安、水濆、兵險者、請駕至本行面議

洋行
電話 第六十六號 第九十一號

㊞周 鐵道 遼河 裕和盛運輸局 （電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年幷店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲 運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東清鐵道[illegible]車船貨物[illegible]有運之貨與交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東 營口南永世街北斗洋行
西 營口西北街塘千胡同內
櫃開設

○○○繩叺莚販賣廣告
精々强勉仕候間不拘多少御注文奉願候尚ほ當地にて御入用之御方は南永世街三十七番地岩本眞鐵方へ御申越被下度候
大連市西通り二丁目四十三號地 東京 門倉 出張所

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至營口永世街第五號 門牌便是

飯塚工程局材料部
營口元神廟前 （電話百三十五番）
弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

一、東淸鐵道貨物取扱
一、貨物集配
●、瀛車貨物積卸シ
右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府 特許 丸重洋行
營口西北街（電話一八番）
牛家屯停車場構內（電話四六番）

廣告
今般元神廟街憲甲第二百三十號舊宅合名會社營口支店（澤龜）跡へ移轉仕り外來及入院患者の治療に從事致候此段謹告仕り候也
明治三十九年五月二十四日
酒井醫院 酒井榮次
（電話第一一九番）

青堆子
菅野玻璃廠
玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價値公道主顧不誤官商幸給顧光特告白
本主人謹白

營口
華盛通轉運行
專以代客運送各城貨物包裝火車格外價廉極其方便倘蒙諸君賜顧者請至本賬房面議可也
本行主人 李子鳴 執事人 楊蔚子方 兆豐 謹啓

Rates for Advertisement 20 cts. per line. Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office. Newchwang.
Telephone No. 29.

廣告料 一ヶ月以內 每行十五仙乃至二十仙 一長期連揭減價面議
發行所 淸國營口中盛街 滿洲日報社 （電話二九番）

○報價目
每月收取八角代賈所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議
從減 每張四百文

東京電報 (六月一日午後六時發電)

●**馬政委員官制公布** 馬政局馬政委員會官制は本日公布されたり

●**鐵國準備局開始** 鉄道國有準備局は本日より事務を開始せり

●**港灣調査委員會** 港灣調査委員會は三十一日第一回會合を内相官邸に開く

●**山座局長漫遊** 山座政務局長は福島次長と共に滿韓に向ふ由

●**ツーマ 露西亞國會は停會又は休會するに至らん解散は免かれんかとの情報外務省に着せり**

●貴族院議員勅任 男爵片岡利和は貴族院議員に任ぜられたり

●軍食意見 外松經理局長は軍用食料品に關し戰役に於ける實驗に原く意見を各師團經理部長より徵したり

●陸相の達示 滿韓及び樺太在勤の團隊附將校は當分家族を携行するを得ざる旨陸相より達示ありたり

倫敦電報 (五月三十日發電)

●**モンテーグ號の大破損** 英國戰闘艦モンテーグ號はブリストル水道に於て大破損を蒙り推進機は兩ながら失ひたり浮揚の見込あるや否や疑し乘組員は救助せられたるも多數の負傷者を生じたり艦室へ侵水の爲め艦体大傾斜をなしつゝあり

●**豫算の不足** 佛國豫算は約九百萬法の不足を生ずる見込なり其原因は威部分に於て海軍費の非常支出に歸因するものなり

●**水雷艇の衝突** 英國水雷艇百八號及び八十一號は英水道に於て演習中衝突し双方共大破損を蒙れり

●**日本人移住計畫** テキサス州西南部に數千の日本人を移住せしむるの計畫紐育に於て成立し其目的の爲め五萬二千エーカーの土地を取得せり

雜報

●鴨綠江鐵道橋 鴨綠江架橋工事の設計は久しく調査中なりしが既に其橋桁に關する總べての設計を終りたれば尙實地に就き擔當技師の詳細なる調査を經たる上に愈〻決定の運に至る筈にて其の橋桁は總て十六個より成り橋の延長は凡そ三千四百尺餘にして天龍川よりは稍〻短かく大井川と略ぼ同じく其高さの如きも洪水を豫想し且つジャンクの帆を揚げて橋下を通過するに差閊なからしむるを要するが故に水面上約四十尺餘に及ぶべしと云ふ何れ出來の上は滿韓境上に一偉觀を呈すべしといふ

●**錦州革命黨捕縛** (中に日本人あり) 去る五月十三日清國盛京省錦州發報によれば清國官憲は同市附近に於て革命を企つる秘密結社の本部を襲ひ首領連を捕縛したるが中にスンセンタイ、サンランなる一日本人あり之と同時に押收したる物品は絹地及木綿地に印刷したる革命の檄文七枚、社員徽章三百六十五枚、彈丸除けの護身符三百十枚等なりしと

●**遼陽軍政署の服裝取締** 遼陽在住の邦人は一定の取締規則により外出する時は男子は洋服又は袴を着用し婦人は殊に袴を着け最も服裝に注意すべき筈なるに近來服裝漸く紊れ婦人の外出するもの袴を着用せざるのみか往々隨体を現はし街上を散歩する等の事あるより同地軍政署は一般に告知して自今居住本邦人にして服裝取締規則に違犯したるものは十日以內の拘留又は百圓以下の罰金に處し情狀に依り營業を停止し或は退去處分を行ふ旨夫れ〴〵通達されたりと云ふ

●兒島聯隊長の歸隊 かねて賜暇歸省中なりし兒島第六十二聯隊長は去月三十日歸隊(遼陽)せられたり

●三井支店長の歸國 三井物産會社牛莊支店長井上泰三氏は夫人を同伴し去る五月三十一日賜暇歸國の途に上ぼれり

●内田公使の談話 (大坂に於て)

▲西太后の御近狀 昨今西太后病氣の如く傳ふるものあるよしなれど自分は出立の際謁見したる所によれば微恙だになく至極御健勝に渡らせられ種々の御物語ありたるのみならず西太后には此程萬壽園に成らせられ三十日北京駐在の列國公使及び其夫人等を招待して一大園遊會を開く準備中にありたり

▲皇帝の御健康 皇帝にも拜謁したるが多少御衰弱の御模樣と見受けたれど擧動御活潑而かも言語明斷にして自分が長く北京に駐剳したるを勞はられ長くも惜別の御言葉を賜りたり

▲威海衛と北滿の鑛權 英國が威海衛を還付して清國が之を海軍根據地になさんとする事及び英國が吉林省黑龍江鑛業權を獲得して既に條約案なるものを交換したりとか現に交換せんとしつゝありとかいへる風說は眞の風說に止まり毫も信ずるに足らず

▲安東縣と奉天 安東縣奉天及び大東溝の開放に關しては日露戰爭前英國清國の條約及び日本との條約とによりて開放するに決し居たれど戰役のために實行を延引し戰後の今日日米兩國と清國當局者との間に日時を協定し安東縣大東溝は五月一日奉天は六月一日より開放するに決定したり

▲吉林其他の開放 又戰後北京に於ける議定書によりて確定したる吉林寧古塔齊々哈爾外數ケ所の開放は日露兩國の撤兵を待て實行する事となり居れり

▲京漢鐵道の運轉 京漢鐵道列車の運轉は是まで夜行の發車を避け居たるが此程より一週一回急行列車を新し三十六時間にして北京より漢口に達し輸入貨物も漸次多く輸出も亦鐵道の便を感ずるに隨て好況を呈するに至るへし

▲京張鐵道の現狀 彼の張家口鐵道も外國人の係累を避け清國獨力にて經營に着手し目下南江嶺の下まで開通し不日全通落成を見るに至らんが該鐵道は主として關內關外鐵道にて利益したる金額を以て着手したるものなれば清國鐵道はその支出の如何によりて何れの方面も有望なり

▲科擧廢止と新學 科擧を廢したる後の清國各省に於ける新學の勃興は非常なるものにして即ち現今日本に遊學する南北清人の留學生は科擧廢止の反響なり今後多數の留學生續々日本に渡來するは清國啓發のため賀すへきことなり

▲南淸の暴徒 近來南淸地方に於て頻に暴徒蜂起するは排外熱の然らしむる所にあらず余は淸國人が時事に輕躁にして種々の問題を惹起すによるへき旨多きが如し

▲淸國の郵便事業現狀 英國レターンオブ、トレード、エンド、トレード、レポートの記述する處に據れば、淸國の新郵便制度は千八百九十六年サー、ロバート、ハート氏監督の下に創始されたるものにして、創設當時には支那本部十八省と滿洲とを三十五の郵便區に分轄したるものなりしが、千九百五年一月一日の調査にては皇室の管理に屬する局所數は三百九十二同支局數は九百二十七增加し、千九百四年中に取扱はれたる信書數は六億六千六百萬通小包郵便物數は七十七萬七千個其重量二億六千七百キログラムに達したりと。猶又た佛人シャール、ラポ氏が同國地學協會雜誌上にて發表したる處によれば、海洋河川の航路、鐵道線路、驛馬等による郵便逓達線の延長は實に五萬三千キロメートル以上に發達せりといふ

●陸海行賞金額 日露戰役の論功行賞金額の概算及び配當は左の如しといふ

一賞金總概算 約一億五千萬圓

內譯配當

一金一億二千三百萬圓 陸軍軍人

一金一千七百萬圓 海軍軍人

一金一千萬圓 一般文官其の他

●殉難四志士 橫川省三、沖禎介兩氏と同行の志士脇光三、松崎保市田村一三中山直熊四氏の生死は今日に至る迄不明なりしか此頃に至り橫川沖兩氏の捕はれたるヤーボローを距る六里の地に於て三十七年四月十五日散兵に挾擊せられ四氏共戰死したる事滿洲軍總司令部殘務員より四五日前各遺族に通知あり同時に右四氏は生前の勳功に依り金一千百圓宛を賜はりたる由右の中脇氏は淺岡一氏の實子なるを以て赤坂新坂町なる同氏方より出棺來る二十九日靑山墓地にて葬儀を執行すと云ふ

●船津副領事の任命 過日副領事に昇任せる船津辰一郎氏は今回上海總領事館南京分館在勤を命ぜられたりといふ

●青島の近況

此程獨乙漢船會社は本國政府の命令なりとて突然倫敦行茶稈異田の靑島上海間運賃を撤廢し三月末より實行したり右兩港間運賃は從來一俵に付一弗の割合にて荷主の負擔なりしが今回の改正により汽船會社持ちとなり荷主は上海よりする同率の運賃即ち一噸に付き三十ゝ志の割合を以て靑島より異田の輸出をなすを得、少なからざる利便を享くることゝなりたるが爲め我邦船會社の如きも之と競爭の結果芝罘方面より輸出する歐洲行異田の運賃を上海並となすの止むを得ざるに至れりと云ふ右獨乙漢船會社運賃引下の目的が膠州灣繁榮の一策として芝罘集散の貨物を該地に吸集せんとするに在るは言を俟たざる所にして今試に最近數年間芝罘膠州兩港異田の輸出額を比較すれば左の如し

年次	芝罘	膠州 擔
一九〇一	三三、四八一	三、四三五
一九〇二	二九、六三八	一一、六九七
一九〇三	二三、八四一	九、九六八
一九〇四	一六、六九七	二五、三八三
一九〇五	一〇、八三六	四一、四一七

鐵道開通の結果、膠州に向け貨物の集中每年增加しつゝあるは右數字の示す所に由て明かなるが今回の運賃引下により尙一層同地への出廻荷を增加するに至るべきか

●大連通信 (二十八日發)

▲露人の遺物せる夫の大棧橋は從來御用船のみの繫留に使用し來りしも今回定期航船の繫泊を許すことゝなり二十九日入港の豫定なる鐵嶺丸は愈々入港後直ちに之れに繫留すべしと云へは露國の經營を我か實業上に實用する東清鐵道の半官用と共に目出度き事なり

▲又たく軍票の僞造現はれたり戰時中營口に於ける軍票僞造と共に我が幣政上の信用を損ふこと大なり慨はしき極みなり且つ第一銀行券も亦た朝鮮にて僞造ありと云ふ但し此の方は紙面澁澤男の肖像中の頭部の禿げ加減に相違の點ありて最も見易すしとのことなり

▲婦人救濟會は元遼陽に在りし基督教靑年會の主事益富政助氏の熱心なる盡力によりて產まれたるものにして遼陽にて三人の婦人を窮境より救ひ出したるを始めとし本日までに遼陽、奉天、鐵嶺、大連、柳樹屯及び旅順等より三十八人を濟ひ東京救世軍本部の事業なる婦人救濟場に送致したる者十二人本人の望みにより生國に歸へらしめたる者等ありて今大連の靑年會內に寄宿するもの十六人病院に在る者三人にして目下は每日一人位宛の割合にて救濟の申込者ありて一々救濟しつゝ在り救はるゝもの、來歷を聞かば一として哀れならぬはなきが一度び本會の手に救ひ上げらるゝや多くの小女等は裁縫及び學課を課せられて每朝六時に起床し朝食を終はりて九時までに精神上の勸話を聽き九時より午後四時までは裁縫を傳習又たと自習して四時より七時まで休業し七時より十時寢に就くまで讀書、算術、習字等を學習し何れも異常の進步をなし婦人の仕事としてなし得る普通の仕事に從事するに碍なきまでに立ち至りたれは追々架設さるへき豫定に在る電話交換局の交換手に採用さるゝ手筈となり居れりと云ふ

●海賊の討伐

遼河々口に於ける海賊の出沒は由來斷へたることなきは廣く世人の知る處にして該河を上下する貨客船舶の被害は殆んと枚擧に遑なく近くは去る五月廿日前後より我が營口軍政署憲兵隊に宛て遼河々口航路監視船附近に一群の海賊出沒する趣の報告ありしを以て水路分遣所よりは池田上等兵に通譯以下十五名を附して被難地點附近を索航しつゝ在りしが三十一日午後營口西砲臺西方河中にて欒州府城南大庄河船の航行するに會ひ賊船出沒の情況を知り且つ同船が五月卅一日午後一時頃營口を指して入港の際二家溝附近の海中にて三隻の賊船に出會し賊船より發銃脅威を受けたるも幸にして同船は銃器を携帶し居たるが爲めに遭難を免かれ得たるも尙は他の數隻のジャンク船は賊徒の脅威に遭ひ人質として乘組の一部を拿捕され每一人につき二千兩宛を要請されつゝありとの事實を確め得たるを以て直ちに其の船より二名の船夫を出して案內せしめ遭難所附近を航行し居たるに同日午後七時二家溝の東邊担樹子に達したる頃前方を航走する五隻の船舶より銃擊を受け直ちに配備を爲して之れに對抗し小戰を交へつゝ在りし間に賊船は風力を利用して遁逃せしかば討伐船は更らに之れを追跡して午後十時二家溝の部落前の水面に於いて前の一船に肉薄して停船を命し之を抑留せしに匪徒は已に他船に分乘し八人の船夫と九名の人質とを收容し益々搜索を繼續し昨一日午前一時頃三たび賊船に遭遇し又も銃火を交へ約卅分間奮闘の後ち夜に入り遂に目的を達する能はずして一と先づ引上げ午前十時過ぎ再び搜索討伐の爲め別隊を派遣し目下專ら搜索中なりと云ふ聞く所によれば上記三回の交戰に於て討伐隊の巡捕長高萬銀は頭部に巡捕浦占元は腹部に何れも擦過銃創を負ひたるも生命には別條なかるへしとなり

●六一聯隊本部の移轉 牛家屯停車場附近に宿營せし步兵第六十一聯隊本部は昨日を以て愈々大石橋に移轉し三上聯隊長及び安村軍醫正は同日午前告別の爲め瀨川領事を訪問せり

●**營口佛教婦人會** 營口佛教婦人會は愈々今回在滿洲婦人の爲めに組織せられ其の第一會を明三日午後一時營口時間當地本願寺出張所に於て開催鈴木一等軍醫松井醫學士より有益なる衛生講話あるべく次て寺本布教師よりは信念と圓滿なる家庭との演題にて一場の演說ある由なれは有志の婦人は上下貴賤の別なく奮て其の入會を希望すとのことなり因に目下漸次同會の發展を得るに從ひ其總裁には大谷伯爵夫人を推戴する筈にて戰後の滿州に於て早くも斯種の團隊の成立せるは社會爲風の爲めにも尤も喜ぶべしと爲す

●日記の一節(下)

なつ子

劍の光りに呼びさまされて吾れに歸りし妾の心はやがて理屈の巻を辿るなりけり即ち母が此短刀を妾に賜へしは此身を穢して再び恙なき顏合はさんことを念じたるにてぞあらめなどて身を傷け親に先立ち嘆きを遺くかけよとは思はすべき嗚呼十幾年間養育し玉へし親の恵みは海にも山にも例へがたきをいま塵ほどの御恩返しせぬさへ子たる道に背きしを剩へ斯る嘆きを後に遺して果つる不孝の罪のいと恐ろしさよあはれ此際に今一度目もじ叶はぬまでの殘り惜しさよと覺悟極めし身ながらもさすが恩愛の絆捨て難くとつおいつの胸の悶へは宛がら束ねたる針もて掻き劣らるゝ樣に覺えられけりさもあらばあれ若し手後れして恥の上の譏りも又なく口惜しゝと傑ひる手に力を籠めて劍を逆手に直し吾れと吾が咽喉に突き立つべく振り返したる刹那刄の光りに忽然母人のお顏の映じたるのみならず何處やらに聲ありてヤレ待てとさへ聞ゆるにお懐かしさの餘り吾れにもあらで周章柄取り直し再び刄の光りを壁に照して熟視たりしてそ心弱かりしか覗れば不思議にもお懐かしきお顏のアリ〳〵と映じお聲音さへ朗らかにアナ僞はしの娘よその心根の男々しきはさる事ながら死なでも濟むことなからずや況してさまで堅き心あらんにはナド他によき思案のなかるべき國に殘りて日々の便りを樂しみに待つ母の心を思はずやと諫め玉はる慈悲深きお言葉のその傍へには稚き妹と弟さへ映じ來て愛くるしき廻らぬ舌に姉さん每時ものやうに唱歌教へて遊ばしてヤナゼその樣な刄物ばし持たせ玉ふぞ今宵は二人とも一つに抱いて寐てよとのあどなき物云ひは情に亂れ愛に迷ひたる心の底にぞ響きける妾はしばし電氣に感じたる如くはた夢心を辿るやうなりしが遂に堪ねかね母人弟よ妹よと忍び音のまゝ刄を懷きて伏し轉びぬ間もなう人聲に驚かされて遂に思ひを果し得ざりしてと果して幸ひなりしかとも亦不幸なりしか噫妾は身に錆の生せんことを恐れて斯くまで死を圖りて遂げ得ざりきその後も苦悶の遺る瀨なさに倚は二度び三度び死を企てたりしかども何時も思はぬ妨げに逢ふて果し能はざりし以來一年の月日は夜の如く幻の如く過ぎ去りしが妾の心も何時しか浮世の浪風に染み故鄕の戀しさも薄らぐと共に人の嘲り誹りも意に留めずなりゆきさては檢査といふ事さへだにさまでとは思はずなりぬされば行末の事まで思ふもうるさくその日〳〵を風のまに〳〵過しゆく身のありさまてそ習ひの性となりたるなれ思へば實に習慣の力はを强きはあらざりけるよ

首夏　霽月

寄すぎて夏さにけらし山の端のかなたこなたは夕立の雲

仝　夢○

律かのまに春はいつしか暮はてゝ袖に風まつ夏はきにけり

仝　枌南

花見せし山も若葉の繁りあひて綠色なす夏はきにけり

從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理を始め御一人前五十錢迄と定め至極御手輕に御銚子揃へて一圓以下に御遊びを願ふ
營口二本町
梅廼
田村瀧太

西海洋服店
歐米各國最新流行形
(電話百二十七)

諸鐵工製作
機械鐵工 山船舶機械鐵工 輕便鐵道附屬鐵工 土木建築用鐵材料
營口ブリッジ 營口レッフ 定商 門會
川喜 鐵工

汽車時刻

關內外鐵道

上り

營口發	前八、四〇	七、〇〇
溝幇子同	九、四五	九、〇〇
錦州同	后三、四五	二、〇〇
山海關着	六、〇〇	八、一〇

下り

山海關發	前七、四五	四、四五
錦州同	后三、五五	二、〇五
溝幇子同	二、四五	四、四〇
營口着	四、五五	七、五一

山海關發前八、一五 …、〇〇 北京發前八、〇〇

東清鐵道

新民屯發前六、〇〇 溝幇子着同九、一七

溝幇子發后… 新民屯着同六、一七

上り 營口發前六、三五 后九、三五 大石橋着同七、三〇 一〇、二五

下り 大石橋發前… 營口着同…

天氣豫報

營口地方天氣豫報 自三十日午後六時 至三十一日午後六時

南の風晴れ

雜報

●何んな工合に臥るべきか（腹這と、仰向と、横と）

▲四足の獸は背か尖り居る爲めに仰向けに臥ることが出來ずとして偖て人間は奈何な風に寢たら良かるべきか後頭部は四足獸の樣に著しく尖り居らず背中は眞ッ平らにて兩足は何處までも眞直に足の踵もまた後に飛び出て居らぬ限りは其の形の上よりしても仰向けに臥るが普通の樣に思はるゝも實地に就て人の臥方を窺へば仰向きもあり側もあり腹這あり、假りに蓐に就く時に是れまで臥たことのなき反對の側に臥るとするも一度眠りに就く時は男子女子に論なく老幼の區別なく自分の知らぬ間に是れまで臥た通りの側に眠りに就く者なり

▲今ま健康なる人々の肺臓の呼吸音を聽き取り見るに何人にも左記三種の一つに洩れぬことを認め得へし

甲、左肺の呼吸する音微なるもの
乙、右肺の呼吸する音微弱なるもの
丙、左右兩側の呼吸する音同一なるもの

▲此三種の差別を聽き取り見れば大抵其の人の臥位の奈何な風かは判斷し得らるゝなり即ち上記の

甲、は左側に臥る人にて
乙、は右側に臥る人なる可く
丙、は仰向き又は腹這ひなる人

なるを知る可し而して人が一朝肺結核に罹り兩肺の中の一が甚しく侵さるゝや又一定の臥位を採る即ち

イ、右側を侵さるゝ人は右側を上とし
ロ、左側を侵さるゝ人は左側を上とす

▲右に據りて更らに又た無病健康なる人は空氣の多く入らさる側を下にして肺病の氣味ある人は其の病む側を上にして眠るものなることを發明せり今ま是れ等の例より見れば健康者の臥位を觀て兩肺の中何れが強き側なるか病人の臥方を觀て何れに患部があるか等悉しく識り得ることを得べし

▲扨て仰向きを天然とし是れには何人も異論なしと定だめて單に横に臥る場合になりて其の左右の中いづれの方に寢るが衛生上最も宜しきかと云ふことになれば又た一つの問題なれど總じて一方に偏するは宜しからず時には右側に時には左側にいづれにても眠らるゝやう習慣を作り度きものなり

▲併し又た胃病のある人ならば右側に臥る方が宜しかる可しと云ふは胃の出口は人體の右方にあり即ち右方を下とすれば胃の排泄の上に理學的の便宜を與ふること多きを以てなり

▲又肺病患者ならば豫防の爲めにも右側に臥る方が好かる可し何となれば空氣の澤山に入る方の側に肺病の初發するは殆ど確定したる學説にて右の肺の氣管支は左の肺の氣管支よりも太く且つ大いなり隨つて右肺には左肺よりも空氣入り易く亦細菌も入り易し是れ即ち事實に於て結核が左の肺よりも右の肺に多き故に外ならず

▲今右側を下にして眠る時は右肺に入る可き空氣の量は幾分か減せられ炭酸を排出するとも減る度までは妨げらるべし然るに炭酸多き肺には結核の生せぬものにて肺に炭酸を貯ふるは結核に對する一の防禦の器となる故に肺病ある人は漫りに深き吸氣をなして肺の深き部に善良なる空氣を送るは血液の爲には良きことなるも肺病治療の爲には却て害となることを知らず時漸く夏季に入りて取分け砂煙多くなる營口の地に住まへる人は注意すべきことなりと某醫士は語せり

●十郎の進水式

婀娜、名も香ばしい二本町なる菊水は暫く休業のところ先月より廣告にもある如く老妓來了雛妓來了の支那口調に物數奇な客も近頃は相當にありと所謂紅裙のいづれ勝り劣りは免れぬうちに何時も莞爾々々と可愛い笑顔の十郎（十六）は舞子あがりの事とて如何に無理なお客の座敷にても愛嬌おしまぬしはらしさ一方ならず、聞けば今に進水式は執行せずとの事なるがよもや機關に思はぬ故障のあらうと云ふ譯でもあるまいがて、は此等の社會の例として大事に大事を踏んで一度の進水式位は信用ならず二度も三度も試驗を經た上の成績でやつと此妓も大丈夫で御座りますと發表する習慣なれば十郎の進水式が果して未だか否かは死更根ほり葉ほり聞き質す價値なし、さても此程牛家屯のあるお役所の髯大盡が短からぬ鼻の下を長くして大枚廿日分のサツクを打ち込みベツドの上に明しつゝ辛や明の鐘の音に驚きさわぐ阿呆鳥もろとも車に乘せられてヂヤ蛇度明日もねと優しい文句にゾツト寒氣を起しながらそれゟ直ちに紋定門街の輕便鐵道に便乘して朝風一層身にしみてお役所に御出勤なされしが其日一日身中ぞく〳〵して仕事も何も手につかざりしと聞くは扨て誰の故ぢややら、あの時門口にしでけない姿の風に靡く柳よりも婀娜と送り出でしは海山千年の古狸でなかりしヤツパリ莞爾もの、十郎でありしを知る人なしと思ふはスタルク提督よりも淺墓な思案旅順をねらふ東郷大將の旗下にはモツト〳〵足の早い目の早い啣艇があるとかや

●餘興相撲遂に喧嘩（遼陽）

これは古き事なるが去る廿七日日本海々戰の一周年に當る紀念日とて遼陽本願寺出張所軍隊慰問部にて駐屯守備隊歩兵對工兵の餘興相撲ありたるが何れは劣らぬ荒武者の虎嘯ひて龍躍る目も覺るばかりの壯觀に列み居る見物人は喝采の聲を止めばこそ殊に工兵勝ては歩兵を罵り歩兵勝ては工兵を嘲ける兩方が最負の聲々は次第に募り果てはよくわる習の入り亂れの大立ち廻りとなり時ならぬ喧嘩の花を咲かしたるは止むを得ざるの事なりとはいへ歩兵一名工兵三名の負傷者を出したるは決して好ましき沙汰と云ふべからず

●遼陽演藝會

米國大震災救濟の目的を以て遼陽邦人間に慈善演藝會を開催する事に決し目下二三の有志奔走中なるが一時は俳優を招純然たる演劇組織にするの議ありたるも這は到底收支償ふべきにあらざるより立消へとなりしより營便なる方法として遼陽藝妓連の内より十數名の尤物を撰び振付人を大連より招き或る期間稽習をなしたる後に開催する筈にて昨今其の準備中なりと云へば六月中旬より開始するに至るべしといふ（遼陽通信）

●頭陀袋

人爵なるものは恰も醜婦の厚化粧して、盛衰したるが如く。近ついて見るほど厭味多きに興醒めざるを得ず之に反して天爵なるものは宛から龜服したる美人が洗髮の湯上り姿に似て接して視るほど奥床かしさに趣の深さを覺ゆ而も世人の多くは人爵を愛して天爵を喜ばざるは何ぞや他なし偏にその化粧と裝飾との材料に心目を奪はるゝに之れ由る今の世は斯の如く厭味を愛するもの〻多きを加ふ吾人遂に興醒さゞらんとするも得ざるなり噫

酒は醉ふべく飲むべし之に飲まるべからず女は愛すべく惚るべし之に惚らるゝ勿れ何となれば飲まるゝは既に酒に飜弄され惚らるゝは最早女に蔑視されたる標的なればなり若し夫れ自巳の技量を揮ふて位置を作らんと努むるは其意氣愛すべし例へば酒を飲み女に惚るゝの男らしきに反し既得の地位を笠に着て振り廻し己が無能を掩はんとするはその根性の卑き例へば酒に飲まれ女に惚れられて飜弄を甘んずるノラに異ならずこれ等こそ地位の奴隸とや云ふべき

●東京館主人の新趣向

營口の商人も以前の如く暴利を貪りて一攫千金の富を夢るの拙愚を悟り始め近來は稍着實なる營業方法に移り行く傾向あるこそ賴もしけれ茲に二本町東京館主人觀る所ありてか新に家屋を增築し浴場及び遊戲の器具を備へビャーボールと倶樂部とを折衷し成べく廉價輕便に誤樂を與ふる方針なる由にて右擴張の披露のため來る五日有志者の懇親演藝會を催はす由其趣向も亦嶄新なれば意外の好評を博すべしとの噂なり

投書かご

▲滿天下の事情貴社新聞の速着により從來に比し二十九時間早く知るを得快感無量恐らく遼陽以北の購讀者同感なるべし（遼陽愛讀者の總代滿洲日報の助）▲遼陽の演藝會は藝妓連で遣る相だが其の藝妓の名が知りたい遼東ホテルの〆八姐さん洩れぬ樣にシツカリ賴むよ（馴染の一人鼻毛の長太郎）▲貴社新聞人の噂は却々趣味ありだ多方面に渉る所が最も妙希くは日々の紙上に掲げて貰ひたい（遼陽の達觀居士）▲兵卒は關東總督府管内の旅行も出來ませぬが戰役休暇にて旅行する方法はありませんか至急本欄にて御教示を願ひます（兵卒）私は本年滿期後渡滿實業に從事したひ希望ですが營○奉○遼○鐵○方面の事情に委しいお方にして私の間に書翰でお教示下さる有志家はありませんか郵便費用は乾度辨償致します（兵卒）

廣告

廣告

弊館來本月四日ゟ向十五日間祝開業二週年左の方法を以て美人投票付候容貌及遊藝の秀でたる美人各一等より十等迄を當撰者と定め左の賞品を贈與します

一等　純金指環　元價　三十圓
二等　寫眞機械コタツク　同　二十五圓
三等　全紙二枚掛引伸　同　二十圓
四等　全紙行伸　同　十圓
五等　半切引伸六圓　六等　四ツ切引伸四圓半
七等　八ツ切　三圓半　八等　カビチ　二圓半
九等　紀念帖　一圓半　十等　繪はがき　三打

等級は最高點者を一等とし以下是に準じます右の内一等より五等迄の當撰者は精巧なる寫眞銅版とし廣く滿洲日報購讀者へ記付し名譽を世界に發表します

以上の方法を以て美人投票仕度候間御賛成の諸君は弊館に付て投票用紙御求め被下度弊館は撮影金額に應し（一圓に付十枚の割）投票用紙を進呈します一時に多數御入用の方に便宜上弊館の寫眞撮影券を御購求下されば同上の割合にて進呈します右撮影劵は二圓五十錢、五圓、十圓の三種にて六ケ月間有効です之も四日より同時に賣出します體裁等も頗る高尚なれば進物用にも適し至極重寶です

投票の場所は永世街鶴の湯の前、日本町東京館附近、三船寫眞館路地の三ケ所に備てありますから隨意に御投票を願ひます、投票の結果は公平を保つため滿洲日報社員及料理組合事務所員の立合を請ひ開札し毎日滿洲日報に掲載します

月　日　營口元神廟街　三船寫眞館

●森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す（産婆大道しげ子）

院長　醫學得業士　森　嬌
副院長　醫學得業士　長船郁太郎

●●●●●

一本院歯科開設
歯科醫　兒島市郎
森病院（電話一五五）

御料理

板場新來了料理は高尚ト清潔ト廉價ト輕便トヲ打テ一圓ノ雪月花ノ會席ト仕餘ヘ御意ニ從ヒナンデモヅス
ゲンシン
ビヨガイ

まつのや

新來の姿等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます
まつのや藝妓　ふで
全　松吉
全　二〇か
義太夫　牛莊
御客樣方

風景佳絶、旅館、料理、遊技完備
滿洲第一　湯崗温泉
效能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
大石橋○—營口○—海城○—湯崗温泉全停車場○—遼陽○—奉天

銘酒　劍菱

新荷着

右劍菱印新荷着仕候に付多少に不拘御注文被成下度願上候也
遼陽停車場向と　池上出張店

料理店　滿月
平野町（電一六二）
滿月支店
平野町入口
店主　青木勝惠

大勉強

一會席　三ツ鉢吸物附　御一人前銀三十錢より
一まめめし　御一人前二十五錢より
右之外御意に從ひなんでもいたし升
仕出しも仕候
月　日　營口元神廟街二〇九號　翁亭

料理店旅館擴張廣告

四方各位益々御清榮被爲入奉大賀候陳者弊店儀曩に滿洲樞要の都府たる當奉天小西關大什字街に料理店旅館開業仕候大方紳士紹商諸彦の御引立を蒙り日に增し盛大を來たし從つて家屋手狹まを感じ候に付き今般一層業務を擴張し更に本店を當府小西關新來當街に設け以て專門の料理店となし日本式大宴會（百人迄の設備有之候）並に歌舞演藝に適する樣大廣間落成致し候に付き此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀に衛生と清潔を主とし精々勉強廉價に相務め可申候間尚一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候敬白

追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は南方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁有之候間御來駕之節は路上の目標に御注目被成下度特に願上候

御料理　本店　奉天小西關新來當街々　金城館（電話十九）
御旅館　奉天小西門街大什字街　金城ホテル（電話二〇）
御料理　支店　營口永世街　金城館（電話八三）
御旅館　支店　營口永世街　金城ホテル
御料理　支店　大連市吉野町　金城館
御旅館　支店　大連市吉野町　金城館

轉居

豐濟門街
アツセンブリホールの東向ひ
遼河水先人　齊藤諭吉

御披露

弊店開業以來諸彦の御愛顧を蒙り毎度御引立に預り千萬忝深謝仕候然るに從來の設備不完全にて折角の芳志に酬ゆる能はざるを遺憾とし今般家屋を增築し業務を擴張し浴場を設け遊戲の具を備へ廉直簡便を旨とし諸彦の實利娯樂を兩全致度候間舊に倍し益御愛顧御引立の程奉願候右業務擴張御披露の爲め今般左記細目の如き有志諸君の懇親會相開度候間官民上下の別なく御參會被成下度御案內仕候

營口二本町　東京館主人敬白

懇親演藝會細目
一會場　二本町東京館
一時日　六月五日午後六時開會但し雨天順延
一順序　六時より八時まで會食懇談八時より藝妓手踊劍舞薩摩琵琶持寄福引其他有志者の飛入演藝十時會合者一同東省巡航公司滊船にて遼河の遊船
一會費　一名三圓
注意　準備の都合有之候故六月四日夜までに東京館へ申込被下度若し豫定人員を超過せし時は申込の順序に從ひ次會に繰延可致候猶御志に任せ各自福引御持寄被成度奉願候

新荷着

▲板材木 ▲木炭
▲生石灰 ▲竹、疊
▲亞鉛板 ▲洋釘
▲日本米 ▲石材

營口永世街八十號

喜久洋行

(電話百五十二番)

上海

中井洋行

專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠料有專銷之約凡新聞紙料印書類各式紙酌莊票包棉紗料草板紙張川本機器連史紙ゟ彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也

中井洋行

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

資本金參拾萬圓

日清合股

(昌)

滿洲昌圖株式會社 **營口分局**

營口元神廟街第貳九八號

總局 盛京省昌圖府東街

既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

本公司經官准認眞開辦左開生理

一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨滙兌
五、各支店所在地棧房

彙辦關內外鐵道又海外轉運(與大淸通運公司連接)東淸鐵道沿路樞要各站分局現方在設備中倘蒙遠邇貨客愛顧祈貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議需特護白備路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按仰地市價包補此

第三回新荷着

恵比壽ビール

金舛洋行
盛進商行

氷

發賣元

田庄臺大盛貯氷公司販賣部

營口元神廟街成功號三階 (電話一三四)

特約販賣店

丸山氷室 營口二本町日莊洋行方 (電話一六九)

三輪衛生軒 營口永世街(大和館向)

自造

煉瓦 ●瓦

並に各種石材販賣

營口青堆子

加州組

(電話八十六番)

營口西北街

裕和盛

電話八一一番

東淸鐵道 貨物運送業

雜貨商

新荷着

朝日ビール 日本酒洋の類
洋酒、食料品
和洋鑵詰、食器
内外煙草、葉卷
エジプト、文具
化粧品、金物類
肥前白米、醬油
酢、木炭、其外
色々
卸並に小賣

彩票

每月 大連 南洋 湖北 發賣

本店 長崎
支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

商號

夏もの大賣だし

永世街第貳市場前

木村呉服店

五月二十五日より六月四日まで

抽籤ヲ以テ景品ヲ呈ス

(電話八八)

營口永世街第廿八號

白米、醬油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、鑵詰、乾物、日用雜貨、漬物類、淸酒澤龜特約

東京タクアン 其外和洋酒類

大原洋行

(營口無比廉價販賣す)

質屋營業

精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候

營口南永世街第三十六號

北斗洋行質屋部

硝子製造

菅野玻璃廠

營口靑堆子街三百六十四號

THE OFFICE M. SUGANO'S GLASS MANUFACTORY.

No. 364, St. Chingtaizu' YINGKOW.

ペンキ塗請負

京阪組

營口豐濟門街李俊宅前

榎本康平

○板材木 ○蚊張
○金物類 ○金庫
○疊建具 ○花莚
○椅子テーブル ○ペンキ
○洋燈類 ○文具
○鰹節雜魚 ○紙類
○酢醬油 ○鑵詰
○其他雜貨色々

新荷着大安賣

(石)

營口西北街

石光洋行

遼陽西門外

石光洋行支店

船毎に新形流行品到着!!

中折帽子、夏座蒲團、夏屛風、硝子球
浪花簾、花莚、電光燈、文明厨爐
簿記臺及椅子、藤製長椅子
揮發油、樟腦、薄荷油
のみとり粉
洋紙

今回海陸連絡の便を計る爲め當行滊船頼朝丸、摩耶山丸、第二橋海丸、中國丸の四隻を以て大坂、神戸、門司、大連、營口間を定期航海せしめ滿洲内地には左の箇所に出張所を設け**海陸及輸送輸出入品委托販賣業**に從事仕候

猶東淸鐵道各驛に代理店を設置し御便利相計り申候

本店 大阪市西區西道頓堀貳丁目 河邊商店

支店 營口元神廟街 松茂洋行

大連信濃町百十一號 松茂洋行出張所

奉天小西門外大街路 松茂洋行出張所

鐵嶺西門外 松茂洋行出張所

昌圖府驛 松茂洋行出張所

卸小賣共 特別廉價 に御顧可申候

黑 赤

深ゴム編上靴新着

營口永世街

盛進商行

行　天津　北京　山海關着　大連着同

宮門抄

初七日　兵部　太僕寺　廂白旗值日　無引見　召見軍機

論說

論近時清議似南宋

中國今日之所謂清議。所謂公論。其舉動頗有與宋人同者。當南宋時。士夫輿論。皆以恢復中原。報二聖之仇。爲清流之公議。主其議者。多正人君子愛國之士。而其中亦間有借此以沽名者。至於主和議之人。則目之爲漢奸。爲清流所不齒。不知論理則恢復爲正。而論當時之國勢。則宋人內容之腐敗。實未有恢復之資格。惟朱仙鎭一役。頗可以直抵黃龍。過此以後。則內治日腐。財政日窘。兵力日弱。非可易言恢復也。中國往日士大夫。不知愛國保種之主義。日以媚外爲宗旨。其人格實出宋人之下。至今日而風氣漸開。人人有愛國愛種類之思想。此我國人格之進步也。於是爭路爭礦。力挽已失之利權。而近日俄美約之抵制。南昌教案之主持。各省則紳商抗議。外洋則留學生電爭。京中則台諫與各京僚。皆以主持清議。爲維一之宗旨。此等人愛國愛種。僕敬之愛之。但今日外國之强。百倍於金。而我國今日之腐敗。亦稍似南宋。照今日情形而議。我國尙未有與人抗爭之實力也。今之所恃者。口舌之爭耳。公法之爭耳。海陸軍者。公法口舌之後勁也。後勁不足。則前鋒亦無力焉。徒恃公法以與人爭。而人不與我講理。則我亦無法以奈之。且天下惟十二分完足之理。始不能搖動耳。若理有短長。則我之理長者。十之七八。人之理長者。十之二三。而口舌辯論之間。力之强者。即可强詞以奪理。故公理亦有搖奪之時。公理公法。有時亦可以强爲顚倒也。夫民心者。軍隊之毋也。今日火器猛烈。非有犧牲性命之堅心則臨陣必逃。然民之性命。又決非萬金一月之軍餉。所能買得也。必須立至公至平之憲法。使全國人民。皆知己身爲國家之一份子。而又廣設蒙學。使國人民皆受文明之教育。當其孩童之時。即使蒙塾之師。以愛國愛種之義。印入於其腦。如此而後國家有可用之兵。有海陸軍。而後有公理公法。今尙未有資格。而但以口舌主持淸議。竊恐淸議非口舌所能辦到也。諸君子既具愛國愛種之熱心。何不設法。助國家廣興蒙學。以立海陸軍之基礎乎。此事雖收效在十餘年以後。而比之徒用口舌。徒發電報者。較有把握。且局外論事。每不知局內之爲難。雖志士之電報紛馳。言官之條陳競上。而不能洞澈事之內容。則所言亦多不中肯。即如近日之南昌教案。僕始亦深怪外部之太弱。欲著論罵之者數矣。既而思唐侍郎與梁敦彥觀察。皆出洋留學之高材生。何至如此腐敗。於是疑而未發。及再四調査。始知江令確有自刎之筆據。在法人掌握。如此則戕官二字。我外部諸公。實不能與之爭。照梁觀察所訂之約。已屬竭盡能力。誠難過於挑剔矣。伍侍郎上海會訊之議。僕當時聞之。亦以爲良策而贊成之。及知有江令之親筆字據。伍策亦不能用。蓋江令既以自刎之筆據授人。則雖在上海再開會訊亦復無益矣。如果我國軍隊之力强盛。則此事自必有爭之法。今力既不敵。祇憑口舌之公理而已。江令既有此筆據。則法人即有所藉口。而我之公理。即有可以搖奪之隙。此中消息。稍達事理者。即能見及之。往者不可諫。來者猶可追。亦惟有速立憲政。以固結民心。廣開蒙學。以養成全國孩童愛國敢死之資格。如斯而已矣。（錄北京日報）

中外要聞

●東報縱論中國現在情形　回憶中國咸豐末年英法二國聯合軍由津沽直犯燕京　文宗皇帝以秋獮而幸熱河遂與訂城下之盟又回憶李鴻章勦匪於江南初聘用洋將戈登以助剿當僅得奏戡定之功方是時中國之於軍務實在頹墮不振之際且未習洋法新操一切韜略殊不免駁雜叢脞之患然聰明如李氏固知洋法必可仿行而又有一種聰明之資性者謂洋兵所以如此强勇者全不外操新銳之兵械而習熟之於是淮軍一隊執槍礮習操演者數萬人頗自稱精銳無比焉詎知甲午一役與日軍接仗則割地償金惟從其所欲迫創鉅痛深爲列國所覬覦始乃悟兵械軍操亦有不足恃者於是變法自强之聲偏於朝野一時議論洶洶如洪水決堤而至列國亦注重於其說將見其有革新之政而以時運未至與聰明甚過反煽揚守舊黨之氣焰遂釀成黨錮之患矣由是而後維新不復振士人緘口不敢言時務浸假至庚子遂有攘臂於聯合軍之前者而　兩宮西狩之痛至今猶在心目此中國之所恃於兵前後兩敗之情形也

嗣此而後地方督撫公然倡說變法自强而無所避忌官紳董事競講求新學而力國更張遊歷之官留學之員冠蓋相望於蓬瀛間其所學習便言政法者無一非維新之法術其業喜速成其義忌艱深一知半解乃亦高言放論毫未顧慮事後之成敗直以文明之先覺自任是其黨揚之態得意之情亦果爲如何且以其言論足能動政府故肆意抉摘鄰邦之瑕疵以邀合于時流同聲鼓吹引法義而收利權之說眞似有成竹者其實詭激躁暴無不逸於常度之外但足使外國危懼擾亂次第啓其兆而思懲艾竟不可止倘有變生不測則列國瓜分之勢指日可即至蓋中國所恃於法者其敗形今將漸至也

夫特兵特法是兩者之所恃皆在其外者也即所謂變云者殊不過爲形貌今所恃在外而所變仍在外是皆趨於末節而走者也惡乎取其所謂本源者乎觀夫政務處云練兵處云軍機處云兵部云其所爲果有幾何差異乎學部已設而科舉已廢則彼禮部云果有幾何進境乎有大學堂有進士館又有貴胄學堂凡學堂之設其數不止數十然而其能有統紀兼有實績者果爲幾何發達乎此外機器局銀元局等林林總總未暇僂指而實源皷鑄之弊原未嘗更新也綜而言之人物甚多而事功甚薄所謂駢拇枝指與附贅懸疣其當斷絕而未敢斷絕者到處各衙門均已有其人矣是皆坐其恃在於外者之罪至於在其內者亦未嘗或有變焉者也可歎哉

●請辦烏城警政　聞烏里雅蘇台將軍奎煥日前有電奏以烏城地處極邊蒙人愚陋俄商往來交涉日繁年前添練駐烏防兵所購槍械經費係由變賣駝隻項下提用現擬續招蒙兵作爲巡警以資彈壓而資得力所有章程均仿庫倫辦理

●白羊墅軌線糾葛　正太鐵路軌線有經由平定州白羊墅一段洋員擬穿村過該村紳公稟請繞越以順輿情恩中丞亦以繞越爲然電商京漢鐵路大臣唐少川侍郎聞唐覆電略稱路線穿村可酌與該村紳商給款拆讓等語于是該村民約三百餘戶頗動公憤堅請路綫繞越

●歡迎內田欽使　駐清欽使內田康哉君今日晉京內外官紳均於新橋車站迎迓一時頗形熱鬧

●日本公宴英使　日本官紳於日前邀請英國前駐清欽使薩道義君公宴列席者有伊藤侯爵小村男爵以及代議士新聞記者等百餘名由薩公使申明英國實以日本爲模範所益匪淺以贊稱日本武士道由伊藤侯爲申明顧兩國敦睦歷久無渝爲兩國三唱萬歲彼此睦洽盡歡而散

●日軍紀念盛會　日本海軍爲紀念戰捷日起見日前於築地水交社開會公宴是日　皇太子偕各公主及親王等親臨其地自陸海武員以及官紳數千名一併來會衣冠楚楚熱鬧異常正筵宴間由齊藤海軍大臣三唱大皇陛下聖壽無疆並祝海軍萬歲事畢會散此日雖大雨毫無減色洵一時盛會也

●漕米暫行停運　江蘇浙江兩省地方米價昂貴窮民飢困不堪所在有滋生風潮之兆故由該地道臺電請周督所有漕運暫行停止恐中途遇劫也

●第二次平和會議之大要條項　第二次平和會議俄國所提倡之案件項目各報所紀不同近獲由正本所纂譯其大要四條即如左開

一從前所有國際調停裁判所暨列國調停裁判委員會等各公約中關於列國平和之主要條項者一律從修改

二公約中關於陸戰章程係一千八百九十九年所計之各種慣例一律改修并有需於補綴成章者分作兩項　一關於開戰又一關於設訂陸上之中立權利

三關於海戰章程係各種慣例之公約一律宜從新訂者分作四項　砲擊所有港口之城府市鎭暨埋設器械魚雷以及改裝商船作軍艦等件并所有敵國洋面之私有財產權　戰端已開而後凡商船下椗在中立國港口若在敵國港口者宜預定起椗之時限以便船隻開卸　所有洋面中立義務之與權利并戰時禁制物件等章程均宜亟從更訂　交戰國之軍艦下椗於中立港口其措置將如何辦理均宜從新訂約但從前所既訂之陸海軍公約其中仍有應用之處者隨便遵照以補塾新訂公約之或未擬及者

四將係一千八百六十四年所規訂塞涅巴條約所當即照料一千八百九十九年之公約一律行增訂

●美創商貨展覽船　美國所創設商貨樣品之展覽船前已經竣成現在整裝啓程之際該船載重八千餘墩形式全出于獨造新裁從前未聞有此型式且向來亦無展覽船之法聞該船擬于本月中自美國啓程前往英德等歐洲各國過蘇彝士而經印度以抵中國暨日本南下更赴濠洲各埠云該船實係美利堅公司所經理其所需經費現計約一百萬美金云諒該船于本年十月前後自應馭至東洋按所謂展覽船者係將一切商貨陳列船中隨處運往以便各國士商採買或有志交易者觀於船中所陳列樣品而照料購辦尤爲異常利便也此實爲向來未有之新法其有裨益于商務者蓋必思過其半矣

●擬飭設立偵探學習館　聞政府王大臣會議查東西各國設立偵探原伺各案踪跡之由來補各捕耳目之不及即至重大疑難之案無不立時破獲實得偵探之力居多現在中國通商口岸極多匪黨名目甚夥亟宜通飭各省添設偵探學習館藉可推廣洗寃之術而杜詭譎之端裨補警務良非淺鮮

●俄議會邀求政府辭職　俄國議會於日前開議時由民主党領袖對於政府所爲竭力駁詰頗動公憤全院議員均爲感激除異論者七名外一併贊成現向政府邀求民心已去亟宜奏請辭職組織新政府以副衆望俾議院和衷議事

●試驗電力演波之功用　美國艦隊前曾在日中行無綫電信之試驗其演波功力僅達五百四十海里因更在夜間即行試驗其演波功力直達一千一百海里之遠即知無綫電信之於日中與夜間有如是之差異者全因太陽光力暨熱力之所影響故耳茲聞美國擬設法措置以便電力演波之功用云諒此事係格致學所宜研究之問題倘得發明其折衷之新方法則亦學界中一偉助也

雜報

●魚行議會　本埠魚業居民凡有魚船者約計一百數十餘隻然分頭二三四等船昨聞埠民傳曰前日有頭二等船諸戶會有七十餘名羣向寰海樓宴讌聚議酌商所有大小一切販船創立一永保太平會嗣後凡有出海與販等船其資本或遭賊搶刦或船小本微罄被官場捐去無可營求不能復爲興販俱由公中按衆均攤所謂衆人全一永保太平不致獨被其患云云

●鹽灘築圍　昨聞埠南二道溝所來人云沿海一帶所有鹽灘及屯鹽等處全行環築圍墻嚴防偷漏以免私販越卡盜運現已動工興築云

●殃及池魚　有一北城居民李叟在哈爾濱市賣騾馬爲牲畜行販積得羌帖參百元乘俄之汽車南旋同車七人臨開車時更躍上四人車行業過吉林將近寬城子界距該四人突然發作各出手槍扼要震嚇一賊執槍先向該叟脅曰市馬羌帖匿置何處罄速現出云云叟駭勢猛惟恐遲難保命乃盡取給賊賊復一一搜括六人俱被掃囊躍軌遁去該六人有被搜去五六十元者有被搜去二三十元者又有一人搜刦十餘元者聞惟有一本埠居民梁姓之子於哈爾濱開照像館因歸家嫁其胞妹措備銀洋一百五十元因與諸人同車亦被賊全行刦去前日至家向人道及云賊匪之勢頗極猖獗云

叢談

●日人演說身體增長之理　美國費城電云日本男爵高木君近日在偏士威尼省大學醫學院演說於衆曰日本人格雖短小然彼有術可令其增長高大與高加索種等其術維何即改良食品及講求食法之二道也此二法彼已歷試於海陸軍人莫不增長肥壯與英美之軍人等不獨此也即以日本尋常最通行之病若能按此法善爲調養亦可醫治云云又曰高加索人種之體格皆有適宜之高度而我日本則微乎小矣此蓋今日最通常之言論也雖然若日本人身體之高度必可增長而與高加索人並肩矣日本人之所以短小之故蓋因於其食品之不精不能滋補筋骨培養血脉故也當吾初入海軍調査其食品無一精美且食物太少不足充飢至後余以西法食品給之於是形體大變精壯康强三年之後身體益高大肥壯幾與美國軍人同度且同時各種病症較之往日更少查日本人當數千百年前體格亦甚肥壯其後因食品不精食物不足以至變爲今日之短小云

廣告

啓者敝館現在擬定推廣報務新增機器以便印刷各種冊籍單張凡大而書籍廣告傳單及小而商報名片等類皆能妥實迅速定期取件並能代譯日英各文一切紙料悉從東洋自行運到各式既全價尤廉較之取購本處者其價目格外公道　貴官商賜顧無論何件均可訂印且不拘多寡一律定價以廣招徠務乞隨意惠臨面訂一切可也

滿洲日報帳房謹啓

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理 第一樓 營口ホテル 元神廟街九十六號（電話八四番）

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

御料理並ニ溫泉 一力 毎日新湯 營口永世街 店主 堀万助

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前（電話一六七番、四番） 店主 熊田粂次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三軒

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街（電話一四五番） 店主 片山小みつ

旅館 大和館 永世街三十四號（電話十一號） 店主 前田九一郎

御料理 梅迺家 營口二本町 田村注太郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊浦門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町三百五十九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

旅館料理 金城ホテル 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

料理旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

さるそば 第一更科 營口元神廟街
さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 店主 住松信太郎

料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

御旅館 品川館 營口永世街一六五號

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿 瑞豊館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話　號）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 溫泉付大勉強キレーヂアイン 奉天小西關大街北側（電話　號）

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話　號）

旅館料理店 梅松館 奉天城内大市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話　號）

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ふゑ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 日章館 牛肉雞肉すき焼 日章亭 奉天小西關大什字街南へ入（電話　號）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

さるそば 更科 營口支店 奉天小西門外金城館前

御定宿 第二東京館 奉天小西關第五分局八〇一〇號 館主 松田平四郎
今回大改良を加へ旅館專業にし御客樣の便利を斗り内湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館料理店 新日奉館 奉天大西門際 館主 濱田アヤノ

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 林德松

御料理會席 菊水館 主任 朝枝圓掟

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之丞

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 主任 西野治三郎

和洋料理 御旅館 滿洲ホテル 遼陽西街西門二七号 上松榮治郎

天然清水氷發賣廣告 奉天
倉庫ノ儘 毎倉庫約二十五万斤
特約一万斤以上
右發賣仕候間至急申込相成度候
奉天小西門外内 大仁洋行

會席料理 三日月 營口警務課前南に入る

一和洋御料理 遼東館 遼陽城内東街
本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

旅館御料理 扶桑館 奉天大西關大什字街 第五分局千〇六十八号 館主 堀田ハル 電話　号

和洋會席 御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候
各位樣
營口永世街二本町 日本館（電話百三十）

松岡病院
內科外科眼科婦人科診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血清療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士 松岡玄雄（電話一五一番）

美味安價西洋料理 牛莊亭 營口永世街五十二號鶴の湯東隣

各國高等雜貨 電話百五十四番
新荷着
歐米各國高等化粧品、新流行夏帽、靴旅行用鞄各種 籐製寢臺、椅子、御婦人用小間物種々
其外珍敷品澤山
營口永世街 川[illegible]洋行雜貨部

新荷着
高等麥酒スペシヤルライト
毎々御引立を蒙り難有御禮申上候扨て麥酒スペシヤルライトの儀今般原料非常に騰貴致候爲め本月一日より左の通り値上げ仕候間左樣御承知被下度尚不相變御引立の程伏て奉願上候 敬具
スペシヤルライト 一函に付 銀十一圓五十錢也
六月
釀造元 大日本麥酒株式會社
滿洲特約販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部（電話五番）

大日本帝國東京市山崎帝國堂大藥房製劑 毒掃丸
本劑實爲梅毒專治之靈葯故瘡毒、楊梅瘡、胎毒濕毒、淋毒、天梅毒、便毒、痔瘡、及筋骨痛梅毒性咽喉爛及口中紅爛先天及後感梅毒性眼疾頭痛耳鳴等症服本劑其効神速的確恰如操左劵凡用本劑者病毒輕者則二禮拜乃至四禮拜全癒重者則百日乃至百五十日除根萬無一悞若無病之人常服本劑能快通大便排泄百毒庶足以徵其効驗也
●定價四日份 三角 ●一禮拜份 五角
總經理批發 營口永世街（司法部前） 回天堂三木大藥房（電話百九十番）

爲替相場（六月一日）
日本向 百〇三圓（華銀百圓ニ付）
上海向 七十一兩（同）
天津向 一百〇四圓十二錢五
芝罘向 一百〇三圓五十錢（百弗ニ付）

日本品最近物價表 加藤洋行
半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
美濃紙 全 七圓五十錢
仙花紙 一帖（六十枚） 六十錢

狀袋 二十枚 三錢 百枚十二錢以上十八錢
便箋 三錢二厘以上四錢
疊 全 二圓六十錢以上三圓

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金